



米商進路だより

令和4年3月23日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第34号）

《 桜咲く（自分らしい花を咲かせよう） 》

令和4年3月1日に卒業式が挙行政され105名が本校を巣立っていきました。一昨年2月の一斉休業が始まった日から高校生活の大部分が新型コロナの影響を受けましたが、卒業生の晴れの門出を保護者・教職員・2年生でお祝いすることができて嬉しく思います。そして、先日一般入学選抜に挑戦していた受験生の朗報が届き、卒業生105名全員の進路が決定し安堵感に包まれました。

さて、雪解けが進み草花が目覚ます季節がやってきました。今年は2年続きで大雪となり、ようやく暖かくなってきたと思ったのも束の間、先週の3連休に寒さが戻ってきて桜のつぼみも足踏み状態です。3月10日には高校入試が行われ、17日に合格発表が終了し、それぞれの目標に向かって花を咲かせようと夢と希望を持った新入生が入学をします。皆さんも少し前のことを思い出してみてください。

間もなく米沢市も桜の開花宣言が発表されますが、草花は、ただ種だけをバラまいてもいい花は咲かずに実也不会。美しい花を咲かせるためには、土を掘り起こして耕し、種をまいた後は、水をやり、ときには雑草を駆除することで綺麗な花が咲くのです。また、その土の環境に適した工夫（日光・肥料の管理）も必要です。つまり、種を蒔いただけで、成長が上手くいく保証はどこにもないのです。

これは、皆さんの学校生活にも同じことが言えます。充実した日々を送るために「自分」という土を掘り起こし、「目標」という種を蒔いてください。そこから、成長するために栄養を確保するとともに、悪習慣（SNS依存傾向等）を取り除き、知恵を身につけなければいい花は咲きません。皆さんの身の回りにある「誘惑」が知らぬ間に雑草となり、栄養分を吸収してしまうことがある春休みは要注意です。

4月には、それぞれが進級し新たな学校生活がスタートをします。これまでの生活の中で、「誘惑」という雑草が生い茂った場合には、それを取り除き栄養分を吸い取られないようにしてください。草花を育てるには、水も日光も肥料も必要です。皆さんの学校生活も同じで、立派な花を咲かせるためには適度な管理が必要であり、それが皆さんの家族だったり先生だったりするのです。

今年も桜の季節がやってきます。桜は卒業から入学の時期に咲く、日本の春の花の代表ともいえるような樹木です。米沢市では、上杉公園や松川河川敷等の名所と呼ばれるところがたくさんあり、晴天で満開の桜を見ていると心が穏やかになるだけでなく、心地よさを感じることができるのも桜の木の良いところです。コロナが収束し、人々が桜を観賞して賑わう日を待ちわびているのは私だけではないはずです。

（ 文責 進路指導部 ）

《 2年生 米商版 合同企業説明会 》

3月7日（月）に2年生を対象として本校主催の合同企業説明会を実施し、置賜地区の企業を中心に24社の皆様にご来校いただき企業理解をする時間を確保しました。昨年12月に開催された就職実現セミナーは、就職希望者だけの参加でしたが、進学希望者についても置賜の企業を知ること、将来の就職活動で企業名を思い出してもらい、Uターン等で地元企業に就職してもらうことも開催目的の一つです。

企業の皆様からは「普通」という考えにとらわれなくて、考え方を少し変えてみて別の視点から物事をみるということを教えていただきました。たくさんの企業がある中で、自社を目立たせる、興味を持ってもらうためには、みんなと同じ「普通」ではなく、差別化を生み出すことが大切だと感じることができました。

仕事を決めるにあたって詳細の条件まで見て仕事内容だけで決めずに、終身雇用ができるような仕事を見つけたいと思ったし、これからの学校生活でたくさんのことを吸収したいと思いました。



《 1・2年生 先輩からのメッセージ 》

3月18日（金）に令和3年3月の卒業生7名から近況報告をいただきました。皆さんの進路希望を踏まえて、大学・短大・専門学校（医療・ビジネス）・県内就職・県外就職（オンライン参加）・公務員のそれぞれの現場で活躍している本校卒業生です。「高校生のうちにしておくべきこと」や「学校生活を充実させること」等、卒業して気づいたことも含め話をいただき、意識に変化があったことを確信しています。

先輩からの話を聞いて、就職や進学をして1年たっているので、それぞれの経験値を話していただいて、「学ぶ」ということはどういうことなのか分かったような気がします。

年齢の近い先輩方の体験談を聞くことができ、進路活動に向けて大きな材料にすることができました。勉強だけでなく、挨拶等の礼儀作法も身につけたいと思いました。



《 1・2年生 進路講演会 》

3月22日（月）に1・2年生に対して「やりたい仕事がなくとも立派にできる」というタイトルでキャリアクリエイト代表の原田康雄氏から講演をいただきました。卒業後の目標が決まっている人もいれば、志半ばの人もいて、これからの学習状況を踏まえて進路決定する人もいます。是非、本日の講演を参考にして、4月からの学校生活に活かしてください。

どんな仕事でも業務内容は多岐に渡ります。また、仕事というのは同じことの繰り返しで“慣れ”が生じると硬直化し新たな発想力や創造力が生まれにくくなります。従って、組織の中で配置替えをしてリフレッシュすることで、物事の考え方や見方を検証し、新たな角度で職務にあたるのです。「やりたいこと」は日々の学校生活の中にあるかもしれません。本日の講演会が進路一助の機会になることを願っています。

人のキャリアの8割は何でもない偶然の出来事からできているという話を聞いて、進路を決める際には、友達や両親、先生方の意見なども参考にしながら決定していきたいと思います。

5つの行動指針（好奇心、持続性、柔軟性、楽観性、冒険心）を心がけて行動したいと思うことができました。



令和3年度 進路内定先（100%決定）

	大学		短大		専門学校		県内就職		県外就職		公務員		合計	
性別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人数	6	8	2	5	4	31	10	27	0	9	2	1	24	81
合計	14		7		35		37		9		3		105	

《 進学希望者の皆さんへ 》

志望校を決定し、総合型選抜または学校推薦型選抜（指定校）等の受験方式を早めに決定してください。なお、専門学校を希望している人で、AO入試を希望する場合には、エントリーの時期に留意してください。エントリーをしたから合格になる訳ではありません。

《 就職希望者の皆さんへ 》

令和4年度も売り手市場が予想されます。進路指導室にある「求人票（コピー可能）」を見て過去の先輩方の実績を確認するとともに、興味関心のある企業調べをすることが大切です。公務員希望者は、朝学習用に配付されている“テキスト”をすべて記憶することができるよう努力が必要です。

《 本気で夢があるならば笑われたってかまわない！ 》

教頭 伊藤 広幸

これは嘘のような実話です。そして必ず勇気が出ると思います。結論から言えば私が知る人の中で、成績最下位から1番になった唯一の人であるG君のストーリーです。

G君は何かと目立つ人でした。私は合格発表の時から目をつけていました（悪い意味で）。入学式後に教室に入ると私のクラスにG君が鎮座しておりました（表現不適切ですが）。いろいろな逸話は残っています。中学の時に学習塾に行っていたが、あまりにも騒がしく退塾になったことを自慢げに話していたことなど。そんなG君ですから勉強や部活よりも「遊び」。高校2年生の時には家庭謹慎になったこともあります。そんなG君から3年生になる春休みに相談を受けました。それは「映画監督になりたい、その為にはどこの大学に行けば良いですか」というものです。芸術系の仕事に就いている人は日本大学芸術学部に進学することを思い出しそれを伝えました。心の中では「無理だ」と思いました。しかし、私は生徒の進路希望を絶対に否定しないことを信条としており、可能性を示したのです。「今の成績では厳しい。休み時間も勉強するくらいの気持ちが必要だ」と伝えました。当時の私のクラスは良い意味で言えば「生命力の塊」、悪く言えば「喧（やかま）しい」。そんなクラスの中でも一番危険なG君。そのG君がいきなり休み時間も勉強を始めました。クラスの誰もが「何した？」「ふざけてる？」のようなノリでした。私も持って三日だと思っていました。その三日が過ぎました。そして一週間が過ぎました。少し教室の雰囲気が変わってきました。4月も終わった頃に大きな変化がありました。クラスの多くが勉強を始めたのです。クラス最下位だったG君が本気で勉強を始めたことで全員が焦りはじめたのです。G君の成績はグングン伸びます。結果として3年冬の課題テストで商業科成績1番となりました（当時は学年6クラスで商業科3クラス）。後にも先にも最下位だった人が1番になったのはG君しか私は知りません。一年間本気で勉強しましたが、クラスの皆が進路決定していた卒業式数日後に不合格となりました。G君は私の前で涙を流しました。3年生まで狂ったように遊んでいた男が一念発起して猛勉強。結果はダメでしたが、その経験は彼の人生の礎となりました。そして第3希望の大学に進学。

大学卒業数年後に偶然に映画館のトイレで会いました。手を洗って去ろうとした時に「あっ！先生。来週からカナダに行きます。映画の翻訳する仕事に就きたいのでカナダで勉強します」。実は当時の米商の国語科のみがカナダに修学旅行に行っていました。そこで、カナダで会う約束をし、実際に現地で会いました。今でも鮮明に憶えています。カナダ・バンクーバーの夜景が見える部屋で彼の夢を聞きました。アルファベットもしっかり書けなかったような男が、仕事を辞め、乗っていた車を売って旅費にして、自分の夢のために英語の勉強にカナダに来ている。自分の夢に本気で向かうことができた人間は、こんなにも強くなるのかと胸が熱くなりました。

結果として映画監督と通訳になれませんでした。次に英語を活かした仕事に就く夢に挑み、現在G君は東京の外資系企業幹部として海外出張等して活躍しています。実用英検1級レベルだと聞きました。夢の形は変わりましたが、もしG君が3年生になって周りに笑われた時に勉強を止めていたら夢は叶いませんでした。宇宙飛行士も、子供のころ「宇宙飛行士になる！」と言って殆どの人が笑われたそうです。それでも夢を諦めなかった人のみが宇宙飛行士になれるのです。自分が本気で向かっていく夢があるならば、覚悟を決めて挑めば必ず夢は叶うと思います。皆さんにも、たった一度の人生を妥協することなく生きてほしいと思います。